シンポジウム

「銭弘俶八万四千塔」の背景を求めて―中国江南と西北地域における劉薩訶と阿育王塔―

プログラム

【受付開始　12：00～　　開場　12：30～】

13：00～　　開会挨拶　浅野秀剛（大和文華館館長）

13：05～13：10　　趣旨説明・司会　瀧 朝子（大和文華館学芸部課長）

13：10～13：40　　発表①　瀧 朝子
「江南における阿育王塔崇拝と日本
―金剛寺蔵銭弘俶塔を中心に」

13：40～14：10　　発表②　田林 啓（大阪市立美術館学芸員）
「西北地域の劉薩訶をめぐって」

14：20～15：10　　発表③　丁 得天（中国・敦煌研究院編集部副研究員）
「刘萨诃与敦煌石窟中番禾瑞像的图像组合与演化
（劉薩訶と敦煌石窟における
番禾瑞像の図像的組み合わせと展開）」　※逐次通訳有

15：10～15：40　　発表④　稲本泰生（京都大学人文科学研究所教授）
「東アジアにおける阿育王塔の形態―生成と確立の様相」

15：50～16：30　　質疑応答

閉会挨拶　岡田裕成（大阪大学教授・美術史学会西支部代表委員）